

第6号

岩見沢市議会議員

平野よしふみ

発行日：平成 31 年 1 月 1 日

発行責任者：後援会 会長 内田茂伸

【後援会連絡先】〒068-0043

岩見沢市北 3 条西 4 丁目 1-12

平野よしふみ後援会事務所

TEL・FAX 25-6512



後援会通信〈新年特集〉



〔後援会長挨拶〕 内田茂伸



新しい年を迎え、会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また、旧年中も大変お世話になりましたこと心より御礼申し上げます。平野よしふみは 6 年間の議員活動を経て、より一層市議会議員としての活動に力強さが増してきました。今春には統一地方選挙が迫ることもあり、役員一同、気を引き締め、一丸となって活動の後押しをしていきたいと考えています。

また現在、新しい後援会リーフレットも作成中です。完成しましたら何らかの方法にて皆様のお手元に配布できたらと考えておりますので、あらためて後援会名簿へ記載いただくと共に、新規会員拡大に向けてのお力添えを賜われれば幸いです。何卒宜しくお願い申し上げます。

新年特集号目次

あいさつ：後援会長 内田茂伸

① 今、「炭鉄港」が面白い！

～岩見沢の「地の利」を活かす～

② 岩見沢の防災

～各自で備えることが大事～

③ 平野の活動トピックス

～日頃の活動の一端をご紹介～

編集後記：幹事長 中谷俊雄

特集



平成 30 年 12 月 6 日、高橋はるみ北海道知事が岩見沢にある「NPO 法人 炭鉱の記憶推進事業団」を訪れ、炭鉄港に関する懇談を実施。平野からシビックプライドと炭鉄港の関わりをお話させていただきました。



たんてつこう

その① 特集

今、「炭鉄港」が面白い！

炭鉄港（たんてつこう）って何？

昨年末まで放映されていた大河ドラマ「西郷どん」で有名な「薩摩藩」の流れを汲んだ北海道の近代化を支えたストーリーです。その核となるのが、「**空知の石炭**」、それらを運び出した「**小樽・室蘭の港**」、「**室蘭の鉄鋼**」、「**それらを結んだ鉄道**」からなる「**炭鉄港**」であり、2015 年に世界遺産登録となった「明治日本の産業革命遺産～製鉄・製鋼、造船、石炭産業～」と非常に関係が深く、現在、空知総合振興局が中心となり 2019 年 1 月の日本遺産認定の申請に向け、鋭意準備が進行中です。その推進にあたっては、関係自治体等を含め推進協議会が立ち上がり、平野は有志と共に施策的な後押しと浸透を担うべく、〈北海道「炭鉄港」市町村議員連盟〉を平成 29 年 3 月に発足。現在、9 市 2 町 74 名＋道議会議員（顧問）10 名の計 84 名の議員が加盟する議員連盟の要となる幹事長として活動を展開しています。



この炭鉄港は日本の産業革命と明治維新に伴う北海道との関連や、旧薩摩藩土が近代北海道に与えた影響、太平洋戦争を挟んだ莫大なエネルギー供給地としての役割等、知れば知るほど地域の未来へ繋がる価値を感じています。

道（空知総合振興局）が作成した「10 分でわかる炭鉄港」という動画がありますので御覧ください。



岩見沢にもたらす期待は？

もともと岩見沢は川と川の接点でもなければ、中山間地域でもなく、あまり人が住み着いて発展する要素が少ない地形と言われています。にも関わらず空知の中核都市となったのは「空知の石炭」とそれらを運び出す「鉄道の拠点」としての要素が強くありました。

残念ながら現在は炭鉱の閉山に伴い、東北以北最大と言われた鉄道大操車場も廃止となり、この岩見沢の「**地の利**」は失われてしまいましたが、炭鉄港がもたらしてくれるのは、地域に住む私達に故郷への誇りや愛着を与えてくれるだけでなく、今後、関係人口や交流人口が増加していけば、岩見沢の「**地の利**」が復活することとなり、その経済効果は各種環境向上等に繋がると期待できます。また、岩見沢には稀有な鉄道関連遺産もあり、東部丘陵地域には多くの炭鉱遺産等、その歴史遺産等の直接的活用も大きな可能性を秘め、真の広域連携と空知の農業やワインなどが複合的に関連することで、より高い可能性を感じることができます。



議員として

平野はこの炭鉄港が地域にもたらす好影響を強く認識し、市政に反映できるように積極的に活動しています。昨年 9 月の定例会でも一般質問をしていますので御覧ください。



<https://hiranoyoshifumi.jp/2018/12/16/10631>

台風 21 号、胆振東部地震を振り返り

東部地震が発生し、道内全域のブラックアウトを経験したのは記
あらためて被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。

市内における金額的な被害は右表の通
億円を超える被害があり、市事業費として
も 4 億 5 千万円を超える被害額となりま
した。また金額的なものだけではなく、避難
所のあり方、情報伝達の不備、公共交通
の麻痺等々の課題が浮き彫りとなりました。

この度の台風と地震による岩見沢市内の被害状況等は、平野 web サイトでも詳しくご紹介しています。



9月5日に台風21号が上陸。岩見沢市内においても農業被害や多くの倒木が発生するなど甚大な被害が発生しました。その翌日6日には胆振

〈（注）下表は10月31日：補正予算審議時の数値です。〉（単位：千円）

	被害額	市事業費	備 考
農業被害	401,592	(農業施設支援) 210,000	廃ビニール等除く
公共施設等	121,411	121,411	修理費、自家発電燃料等
樹木倒木等	107,490	107,490	1,532 本
水道・病院・消防	10,345	10,345	
計	643,211	451,619	台風 439,898 千円 地震 11,721 千円

現在の災害対策

現在、岩見沢市内の避難所は、学校や自治会館等の 50 ヶ所が指定されています。

元々の考え方として、浸水等による一部地域の避難などを想定しており、全市的に市民が一斉に避難することは想定されていないため、避難所は全体で 50 ヶ所あっても、備蓄品等は互いに融通しあうことを前提としており、数量も非常に心もとないものとなっています（右表参照）。そこで、先日の道内全域停電がもし冬季であったなら、各家庭での暖房も機能しなく、やむを得ず避難所に行くと毛布すら避難所 50 ヶ所中 35 ヶ所には存在していないこととなり、また、小さな簡易ストーブすらない場所もあります。まずは市がどこまで準備すべきかを議員としてしっかりと議論することが必要と強く認識しましたが、やはり最後は自助、互助の精神のもとで、常日頃から各家庭で避難具一式を準備するのが何より大事なことです。

万が一、冬季間にブラックアウトが起きると、市民を収容できる避難所も備蓄品も不足することが予想されます。それに対応できる様、市が設備、備蓄等を増強するのは命を守るために重要ですが、山積する多様な地域課題を考慮すると現実的ではありません。よって各自、身近な地域の方々と共に常に

避難所備蓄品配置状況（一例） 平成 30 年 11 月 23 日現在

備蓄品名	備蓄施設数 (50ヶ所+α中)	総数	備考
アルファ米	13+2ヶ所	4,969食	
毛布	13+2ヶ所	2,075枚	
トイレ袋	5+2ヶ所	5,000枚	
ストーブ	12+2ヶ所	50個	
医療用セット	24+3ヶ所	27組	20人用/組
自家発電有	11+3ヶ所	—	

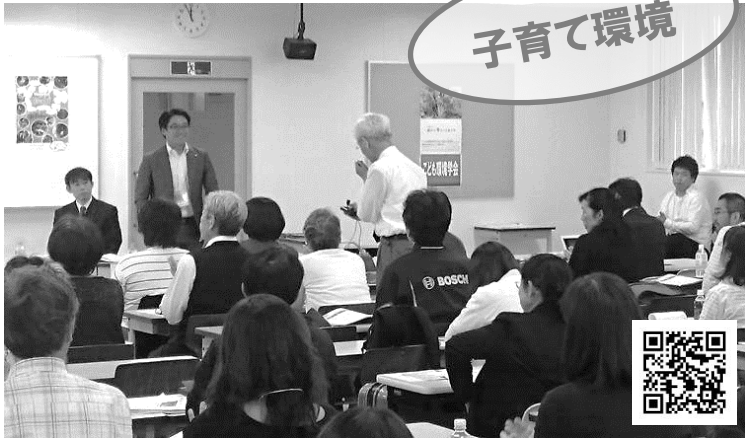
備蓄等の+数値は、避難所 50 ヶ所の他に
避難所ではないが備蓄品だけを装備している
場所があるため、その分を+で表しています。

害に備えることが重要だと考えます。

特集
その③

平野の活動トピックス

■平成 29 年 5 月 所属する「こども環境学会」の
全国大会にて分科会のコーディネーター役を担いまし
た。分科会のテーマは「共に遊び 共に育つ」とし、
様々な育ち環境を取り巻く懸念において、つい子ども
に焦点を当ててしまいがちですが、それと同時に子育て
に戸惑う「大人」に注力することが必要と捉えて開催。
恵庭のプレーセンターや岩見沢プレーパーク等を
始めとする話題提供者にご協力いただき、大人の成長
が子どもの健やかな成長にどう繋がるのかを議論
し、分科会報告書を作成しました。



子育て環境



地域活性化



■平成 29 年 12 月

『地域との共生を考える』～北村遊水地事業と地域創生（環境コモンズ研究会/札幌開発建設部岩見沢河川事務所共催）という講演会で、講師は著名な環境コモンズ研究会座長の小磯修二氏と平野の二人。100名を超える遊水地関係者に岩見沢の歴史的考察や価値について講演をさせていただく機会を頂戴しました。



近年の社会活動のほんの一部をご紹介します！これらの活動が全て議員としてのバランス感覚に繋がっています。

交流事業

今年の夏も 2 年連続となる「北の夏祭り」を開催。地域の方々を始めとする大勢の皆様との貴重な交流の機会で、貴重な情



教育環境

■平成 29 年 9 月
北海道公立学校教頭会研究大会
特別分科会 パネリストとして

トピックスも多すぎて書ききれません。できるだけブログ等でご紹介しておりますので、お時間ありましたら、是非ホームページをご覧ください。



〈編集後記〉この度の後援会通信はいかがでしたか？今回の後援会通信は平野議員の多くある活動の中から焦点を絞り掲載をしました。子育てに関連した地域密着型の活動から、「炭鉄港」といった北海道と九州を結ぶ広域的な活動まであります。活動地域の広がりには単に岩見沢市の知名度を高めることだけではなく、岩見沢市のために力を貸してくれる地域との連携が強まっているという証です。

さて、平野議員は来年４月２１日の統一地方選挙を迎えます。あらためて気を引き締め、活動をバックアップしていきたいと思っています。

平野よしふみ後援会 幹事長 中谷俊雄